

①事業実施報告書詳細

事業実施報告書詳細

学校名 大館市立積迦内小学校

| 時間数 | 場所 | 概要 | 活動記録(写真) | 対象者の反応 |
|-----|----|---|---|--|
| 1～2 | 教室 | ・ひまわりの特性について話し合い、「ひまわりで積迦内地区を明るくしよう」という景観づくりのための方策・アイデアを考える。 |  | ・太陽に向かって咲く「ひまわり」の特性に気づき、積迦内地区の地図をもとに、「適地を探したい」「自分たちの活動で地域を明るくしたい」という思いが高まった。 |
| 3～4 | 教室 | ・一人一人が自分の町内の様子や写真を地図にまとめ、その情報を持ち寄って、ひまわりの植栽に適した場所を考え、地図にまとめる。 |   | ・地域内に休耕地が多いことや人通りや車通りが多いのに殺風景な景観が見られることに気づき、街の景観づくりの大切さをより意識するようになった。 |
| 5～6 | 地域 | ・ひまわりを植栽できるのかどうか現地を調査し、土地の持ち主と交渉して、承諾を得る。 |  | ・土地の様子やひまわりの咲く方位に気を付けて調査した。 ・快く引き受けてくれた地域の方の気持ちに感動し、地域の方々の温かさを実感した。 |

| | | | | |
|---------------|----------------------------|--|---|---|
| 7 | 学校 | <p>・出されたアイデアを生かす活動を行う。(1戸1ひまわり運動で、「ひまわりの特性」を書いたメッセージと種を入れて配布することにした)</p> |  | <p>・ひまわりの特性を生かすことで、地域のあちこちで咲くひまわりを想像し、心を込めて種の袋つめを行った。</p> |
| 8～9 | 学校 | <p>・ひまわりでの景観活動づくりの趣旨を全校にプレゼンテーションし、各学年へのお願いや植栽について説明する。</p> |  | <p>・今回は、「ひまわりが咲いているのを見る人のことをイメージして植栽すること」をテーマにプレゼンした。</p> |
| 10 ～ 13 | <p>地域</p> <p>地域 学校</p> | <p>・地域の方と共に植栽し、除草や看板付けを行う。</p> <p>・ひまわりがどのように景観づくりに役だっているのか、実際に写真を撮ったり、地域の方々にインタビューしてまとめる。</p> |   | <p>・近く的高速道路からの眺め、主要国道7号線からの眺めなど、ひまわりが満開になった時のことを思い浮かべながら、熱心に活動した。</p> <p>・地域の方々の目を楽しませていることを実感した。</p> |
| 14 ～ 15 | 体育館 | <p>・地域の方を招いて、「ひまわり写真・川柳コンテスト」を行い、地域の景観の変化をプレゼンテーションしながら、地域の方と景観のよさについて意見交流する。</p> |   | <p>・写真だけでなく、川柳を加えたことで、よりひまわりによる景観のよさ、ひまわりの明るさで心が豊かになったことを実感した。地域の方々にも大変好評であった。</p> |

②学習指導案

学習指導案（計画段階の指導案）

| | |
|----------------------|---|
| 単元名 (全15時間) | めざせ！地域景観マイスター |
| 学習のねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの特性に気付き、そのよさを景観づくりに生かそうとする。 ・場所によって、自然・景観が異なることに気付く。 ・地域の方々との関わりを通して、地域を活性化するために自分たちは何ができるか考え、実行することができる。 ・収集した情報を分析したり、情報を効果的に伝えたりする経験を通して、課題解決能力とコミュニケーション能力を高める。 |
| 学習内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 ひまわりの特性と思いについて話し合う。 2 現地調査を行い、ひまわりを植えた方が景観に寄与する場所を探す。 3 実際にひまわりの種を植えたり除草したりする。 4 ひまわり写真・川柳コンテストを行う。 5 ひまわりを植えた効果について調査しまとめ次年度の活動に生かす |
| 参考資料 準備品 実施場所等 | 教室や地域 |

学習の流れ

| 時間 | 学習活動 | 教師の指導 | 評価 |
|----|--|--|---|
| 2 | 図鑑やインターネット等でひまわりの特性を知り、「ひまわりで釈迦内地区を明るくしよう」という景観作りのための方策やアイデアを出し合う。 | ひまわりは「花が開くと主に東を向く」ことをつかませ、釈迦内の土地、道路などを考えて、「景観づくりにふさわしい場所を探して植えよう」ということにたどりつくようにする。 | 「どこにでも植えればいい」から「適地を探して植えよう」という意識をもつことができる。 |
| 2 | 一人一人が自分の町内の休耕地や道路の様子を写真に撮って持ち寄り、ひまわりの植栽に適した場所を考え、地図にまとめる。 | 方角を意識し、たくさんの人に見てもらえる、日当たりがよい、などのポイントに沿って場所を探すことができるように、地図を十分に活用できるようにする。 | ポイントをもとにひまわりを植えた方が地域の景観に寄与する場所を探し、写真に撮っている。 |
| 2 | ひまわりを植栽できるかどうか、現地を調査し、土地の持ち主に会い、趣旨を説明し、植栽の承諾を得る。 | 候補地の中から、イメージと合致しているかどうかを①土地の状態②方位③日当たり、をポイントに絞り込むようにさせる。挨拶や言葉づかいなど人と接するときのマナーについて確認する。 | 絞り込みのポイントをもとに調査している。 場にあった挨拶や言葉づかいをしている。 |

| | | | |
|---|--|--|---|
| 1 | 出されたアイデアを生かす活動を行う。 | 「ひまわりの特性を生かした景観づくり」を具体的にできるようにする。 | 「景観づくり」の大切さに気付いて活動している。 |
| 2 | 全校児童に協力してもらえようようなプレゼン資料を作り、説明・発表する。 | 景観づくりの大切さに共感してもらえよう活動になるよう、意見を出し合い、工夫してプレゼンテーションを作り、効果的に表現できるようにする。 | 地図を示したり、活動内容を示したりして、分かりやすく説明している。 |
| 4 | 地域の方々と協力して土地に種をまき、除草や看板設置を行い、「満開のひまわり」の効果进行调查する。 | 地域の人にも協力を求め、活動をアピールできるようにする。 これまでとの景観の変化を具体的にインタビューしたり、アンケートしたりしてまとめさせる。 | 満開のひまわりを思い、熱心に活動している。 たくさんの人から感想や意見を聞き、まとめている。 |
| 2 | ひまわり写真・川柳コンテストを開催し、調査した景観の変化をプレゼンテーションしながら、地域の方と景観のよさについて意見交流する。 | 全校児童や保護者、地域の方にコンテストの呼びかけをするようにする。 高校写真部や川柳選者を招き、取組や作品のよさを示してもらおうようにする。 ひまわりの特性を生かすことで、より明るい景観づくりにつながったことを実感できるようにする。 | ひまわりによって、自分たちにも地域の方たちにもたくさんの笑顔が溢れていることに気付いている。 |

<留意点>

- これまでもひまわりを生かした取組をしてきているが、「ひまわりの特性を生かす」ことがより豊かな「景観づくり」につながることを分かるようにする。これが、「景観づくりマイスター」と呼ばれる所以となることに気付かせる。
- 満開に咲き誇ったひまわりが、自分たちのふるさと釈迦内の代名詞になることを目指し、活動のよさ、文化的な面でのすばらしさを伝える活動を大事にする。
- 自分たちががんばりが地域の人を元気にするだけでなく、地域の人に協力していただくことにより自分たちもまた元気をもらうのだということを常に意識して活動できるようにし、「豊かな心の景観づくり」という面を大事にする。

③ 実施内容について

| |
|---|
| <p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">○景観づくりにつなげるために、写真・地図を使用し、ひまわりの特性である「花が開くと東に向く」を意識させて植栽させる場所を探させた。○「ひまわりによって釈迦内地域を明るくする」というねらいを達成するために、①見た時に景観のよさを感じる。②活動や景観によって笑顔があふれる。③咲いた時だけでなく、文化的な側面での波及効果をさらに広げる。 の3点を大切にしました。 |
| <p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">○作業量が多くなるため、児童だけの活動が困難であり、保護者や地域の方々にも協力をいただいた。また、課外活動やボランティアでの活動も多くなるが、「総合的な学習の時間」で行う活動を精査し、学校の授業で行うことを明確にした。○礼状や感想文などで、土地を提供してくれたり、作業を一緒に行ってくれた方々へ感謝の気持ちを伝えた。○ひまわり写真・川柳コンテストは初めての開催だったので、審査員の要請や審査のポイントの伝達が難しかった。 |
| <p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">○「景観マイスター」になるためには、地域の具体的な自然環境、土地の状況などと合わせ、植物の特性などを多面的・複合的に見ていくことが必要だということに気付くことができた。このことは、将来のキャリア形成に大きく役立つと考えられる。○アンケートを取り、ひまわりの特性を生かすことで、より豊かな景観づくりにつながったという結果を得て、自分たちの活動に充実感をもつことができた。○地域の人と一緒に活動することにより、自分たちを温かく見守ってくれている人が多くいることを再確認するとともに、何度も顔を合わせ、ともに汗を流す中で、地域の方々との絆が深まった。 |
| <p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">○理科、社会、国語など教科との関係を意識しながら活動させることで、「総合的な学習の時間」を充実させることにつながった。○これまでの取組を生かし、全校での協力体制を確立しているため、担当外教諭であっても活動の趣旨を理解し全校体制で臨むことができた。 |
| <p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">○「景観づくり」のよさと効果を発信し、この活動に主体的に参加する保護者や地域の方々を増やしていくための方法。○地域の景観状況と地域の方々の意識の変化のさらなるリサーチ。○活動におけるねらいを意識した教師の働きかけ。 |

【地方紙「北鹿新聞」に見開きで掲載された「ひまわり写真・川柳コンテスト優秀作品】

